



近藤吉一郎

グラスハウスの存在意義
と公認プールの建設は

Qスポーツ 先般行われた事業

仕分けで、グラスハウスの運営は「民間で実施」との判定結果になったが、民間譲渡により事業がうまく進む施設なのか。またグラスハウスは健康増進施設の面だけでなく、観光資源としての価値も高い。代替施設となり得る施設はあるのか。さらに代替施設と比較した場合、グラスハウスの観光面での経済効果はいかほどか。

A部長 県から市に移譲された

経緯を踏まえれば、民間単独で運営を行うことは難しい。受け入れ先があったとしても安定した継続営業は未知数である。代替施設としてはレインボープールが受け皿になり得ると考える。観光資源としてグラスハウスは



グラスハウス(上)
レインボープール(下)

レインボーと比べレジャー性も高く、市外からの多くの来場者により地域に一定の経済効果はあるものと認識している。

Qスポーツ 津山市体育協会と

スポーツ・武道振興議員連盟との意見交換会の中で、最重要事項として挙げられた公認の屋内プール建設について、市の考えは。

A部長 公認プールの建設につ

いては多くの検討課題があるが、第5次総合計画の中で施設の重要性、事業の優先性等について議論を行いたい。

旧田淵邸を

取得する際の約束とは

Q文化 市が旧田淵邸を買い受

ける際、市と田淵氏との約束は。
A部長 武家屋敷資料館として整備を理由に取得したのは事実である。



田町武家屋敷跡 旧田淵邸

鶴山公園の今後の

桜について

Q整備 鶴山公園の桜は明治33

年、当時の津山町会議員福井純一氏によるソメイヨシノの植樹に始まった。ソメイヨシノの寿命は60年で鶴山公園は国指定で

津本憲一

ある。今後の桜の植樹をどのように考えているのか。

A部長 公園内の樹木は津山城

跡樹木保存管理計画を策定し、文化庁の許可を得て保存管理している。石垣の景観を阻害するものや老木は伐採し、城の遺構に支障のない場所に補植している。桜は市のシンボル。今後とも保存していかねばならない。

民生委員の活動

大変な現場について

Q福祉 民生委員は大変な現場。

この状況を打破するために、福祉委員の設置をどう考えるか。

A部長 「地域福祉計画」を策

定し、孤独死の防止、要援護者の早期発見・支援に必要な小地域ケア会議を推進することにより、福祉委員の役割を担うことができるかと考えている。